

おもしろいね！が、きっとみつかる。

シニア世代の地域デビューを応援！  
～アッティーヴォ～

# attivo

みやシニア  
活動センター  
通信 vol.22

(平成27年8月発行)

## 宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業特集号(第2弾)

今回は、センター通信20号に引き続き、「宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業」について取り上げました。前回の20号では、ポイント事業の概要や登録申請までの流れについて取材しましたが、今回は、実際にポイント事業に参加登録をしたグループの活動内容やポイント事業の効果などについて取材しました。



### ○ 高齢者等地域活動支援ポイント事業とは？

この事業は、宇都宮市が介護保険事業として実施するもので、市社会福祉協議会（市総合福祉センター8階のボランティアセンターが窓口）に事前に登録申請を行い、認定を受けた団体・グループが取り組む活動に高齢者等が参加した場合、その実績に応じて、市の施設利用券などに交換可能なポイントがもらえるものです。

### その1 三の沢北ボランティア 「登下校等の見守り活動で児童の安全確保」



### その2 SDOサポート27 「高齢者への傾聴活動で共感」

### その3 シルバーエイトマン 「その後のシルバーエイトマン」 (通信20号からの続編)



「attivo (アッティーヴォ)」とは、イタリア語で「活動的な、行動的な」という意味です。

## ① 登下校等の見守り活動で児童の安全確保

取材：石井特派員



【三の沢北ボランティアの皆さんの  
登下校の見守り活動等の状況】

今回は、明保小学校児童の登下校時の見守り活動を行っている「三の沢北ボランティア」の活動を取材させていただきました。

取材時は、激しい雨が降る朝でしたが、駒生交番前に集合した約40名の児童が安心して登校できるように、「三の沢北ボランティア」の皆さんは、黄色のジャケットと旗で安全を守りながら、環状線の歩道横断、狭い道路を切れ目なく行き交う自動車を避けながらの歩行を誘導していました。自動車のすれ違いも容易ではない細い道路を傘差しての登校は危険一杯、交番前

まで子どもを送ってきたお母さんに話を伺うと「通学路は、環状線の横断や車とすれ違う細い道路と危険な個所が多くあり、このように、毎日、立哨同行して下さるのは本当に有難いです。」とのことでした。また、6年生の男子も「安心して歩けます。」と話してくれました。下校時には、1年生から3年生、約20名の安全を守るために、午後の当番の方が交番前まで児童を導いていました。

朝の見守り活動を終えた後、「三の沢北ボランティア」の会長である中島一輔さんに、グループの立ち上げから活動内容、これまでの苦労話などについてお伺いしました。

「三の沢北ボランティア」は、平成17年の旧今市市立大沢小学校1年生女子の悲惨な事件を契機に立ち上げ、現在、約30名のメンバーが登下校時の見守り活動を行っているそうで、毎日の見守り活動のなか、これまでに間違えば大事故、事件につながるようなことに3度遭遇しており、子供の命を預かっているという責任から気を緩められないこと、また、ボランティア活動はまさに善意の集合体としての活動であり、メンバーは、日頃の活動をノルマとは受け止めず、真面目に継続することが大切と考えている、とのことでした。その結果、平成25年に栃木県教育委員会から、これまでの活動に対する功績を評し「学校教育支援ボランティア感謝状」が授与されたそうです。

今回の「高齢者等地域活動支援ポイント事業」への登録について伺ったところ、「自分たちの活動を誰かが見ていてくれる、認めてくれていると受け止めることができ、やり甲斐をより強く感じている。」「ポイント管理については、ポイント管理者がメンバーの活動実績を正確に把握し、公正に記録把握することが大切になる。」とのことで、現在は、ポイント管理者のほか2人が協力して、活動実績を正確にカウントしているとのことでした。

毎日の見守りは、児童の命に係わる活動で、心配や心遣いなど並大抵なことではないでしょうが、中島会長は「休みのない毎日の活動は大変だが、仲間たちは、誰かがやらなければならないことは気持ちよくやる、自分たちの心身の健康づくりにもつながると頑張ってくれている。」とのことで、「三の沢北ボランティア」のような活動は児童の見守りだけではなく、地域の間人関係を密にして結束を強め、住みよい地域づくりにつながっていると実感するとともに、「三の沢北ボランティア」の皆さんが、ますます元気に活動を続けて頂きたいと心から思いました。



【代表の中島一輔さん】

## ② 高齢者への傾聴活動で共感！

取材：清水特派員



【傾聴活動後のメンバーの皆さん】

私自身も傾聴活動に興味があったことから、今回、「高齢者等地域活動支援ポイント事業」に登録している傾聴ボランティアグループ「SDOサポート27」代表の松浦正夫さんにお話を伺いました。

グループ名の「SD」はシルバー大学の略称で、27期生（2007年3月）OB58人で結成されており、大半は女性で男性は15人程とのことでした。

「SDOサポート27」は、老人施設等を対象に、市内14か所、高根沢地区2か所の計16か所を訪問して傾聴活動を行っているそ

うで、結成からこれまでに約1,300回の訪問実績があるとのことでした。

活動は月2回程、個人対面で1時間程度、話を聴いており、活動するなかで苦勞する点は、会話が途切れてしまい、話の糸口に窮する時とのこと。また、話を伺う方のなかには、自分の世界に閉じこもって中々、話をしない方、あるいは出来ない方、耳の遠い方、話し声が小さい方、反対に少数ながら多弁な方など様々な方がおり、人生の縮図を見る思いがするとのことでした。

「高齢者等地域活動支援ポイント事業」については、事業開始当初から参加したそうですが、代表として一番苦勞している点は「スケジュール管理」や「ポイント管理」で、特に、メンバーがポイントを取得できるよう、活動スケジュールを作成することが大変とのことでした。

また、取得したポイントは、基本的には個人の希望に応じて交換しているそうですが、少数ポイントや端数のポイントはグループとして有効活用できるよう、お互いに協力しているとのことでした。

松浦さんは現在65歳で、60歳で定年退職してシルバー大学に入ったことが、ボランティアを始めるきっかけとなり、現在は自治会長もしていますが、それまでは地区の人との交流はほとんどなかったそうです。

松浦さんは、その話しぶりも生き生きと社会貢献の意気に燃えているように見受けられ、取材をさせて頂いた私自身も、老いの身ながらボランティアを続けていなくてはとの意気に誘われ、又の機会を約束し、楽しい取材の一時を過ごしてお別れしました。



【代表の松浦さん】



【盆踊りの披露の様子】

今」への訪問活動です。」と、活動状況について説明を受けました。

「シルバーエイトマン」が活動している「アオーラ而今」では、毎月、入居されている方の誕生会を開催しており、その誕生会の後のお楽しみとして「シルバーエイトマン」が余興を担当しているそうで、単に「シルバーエイトマン」による芸だけではなく、シルバー大学校の他のクラブも一緒に参加し、シルバー大学中で人気のある「アフリカダンス」や「民謡」、「マジック」等、日頃の成果を披露させてもらっている、とのお話でした。

誕生会には毎回50名程の入居者が参加しているようですが、参加者には元気な方がとても多く、アフリカダンスではアクセサリーをつけて一緒に踊ったり、民謡ではマイクを渡すとソロが始まる方もいるほど、元気いっばいに盛り上がるそうです。

「高齢者等地域活動ポイント事業」については、「活動実績に応じてポイントがもらえ、それが励みになっていますが、今のところ、月1回程度の活動なのでポイントはあまり貯まりません。それでも「自分の活動で得たポイントを使い、孫に図書券をプレゼントしたい。」と思っているメンバーもいるようです。」と「シルバーエイトマン」の皆さんのやる気が伝わってきましたが、更に、五十嵐さんから「この通信を読まれた方から、声がかかるのをお待ちしております！」とのメッセージを頂きましたので、是非、皆さん、声をかけてください。

前回の20号に引き続き取材をさせて頂いた「シルバーエイトマン」は、この3月に「高齢者等地域活動支援ポイント事業」に登録申請し、4月から活動を始めたグループ。そこで、今回は現在の活動状況について、県シルバー大学に代表の五十嵐陽子さんを訪ねました。

「シルバーエイトマンでは、月に1回程度、全員で活動していこうと考えていますが、クラブ活動や学校祭等でメンバー全員忙しく、なかなか一緒に行動できないことが多い状況のなか、継続している事が1つあり、それが「養護老人ホームアオーラ而



【民謡の披露の様子】

《事務局からのお願い》

- ・ 「みやシニア活動センター通信」をご覧になった、ご意見・ご感想をお聞かせください。今後の参考とさせていただきます。
- ・ 地域で活躍するシニア世代の方の情報がありましたら、みやシニア活動センターまでお知らせください。
- ・ ご意見・ご感想・シニア特派員等に関するお問い合わせは、下記までお願いします。



○ 発行／編集 みやシニア活動センター（宇都宮市 保健福祉部 高齢福祉課）

住所：宇都宮市中央1丁目1-15 宇都宮市総合福祉センター8階  
 電話：028-639-8585 ファクス：028-639-8575  
 ホームページ：http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp